



令和7年度「ちっちやい探検隊（秋）」実施報告書

I 事業の概要

1. 期日 令和7年11月1日（土）～2日（日） 1泊2日



2. ねらい

- ・親元を離れ、大自然の中で仲間と生活することを通して、自分で行動する自信をつける。
- ・班の中で自分の意見を言えたり、友だちの意見を聞いたりすることができる。
- ・友だちと力を合わせることを楽しいと感じることができる。

3. 参加対象 小学校1～3年生

4. 応募者 46名

5. 参加者 33名（大学生ボランティア 19名）

6. 参加費 3,300円

7. 日程

11月1日（土）		11月2日（日）	
10:30	受付開始	6:30	起床
11:00	出会いのつどい	7:00	朝のつどい
11:30	こびとといっしょにハロウィンをとりもどせ!!	7:20	清掃 荷物移動
11:50	なかまをつくろうだいさくせん	8:00	朝食
12:30	昼食	8:50	退所点検
13:45	オリエンテーション 荷物移動	9:00	おかしをめざしてレッツゴー!
14:30	みんなでゲットだ へんしんアイテム!!	10:15	みんなでハロウィンピザパーティー!
16:15	なりたいおばけにへんしんしよう!	14:00	感想記入 発表練習
17:30	夕食	14:30	別れのつどい
18:40	ハロウィンナイトの謎を解こう!		解散
20:00	入浴 就寝準備		
21:15	消灯		

II 実施状況

■1日目の活動の様子<11月1日（土）天候 晴れ・雨>

学生サポーターとの打ち合わせを行い、各担当の役割の練習などを行ってから参加者を迎えた。緊張した面持ちで集まった子どもたちを学生サポーターが優しく迎えてくれた。オープニングでは、船上モンスターに奪われてしまった小人たちのお菓子を取り戻すために協力することを約束した。



交流レクでは学生主導でレクリエーションを行った。緊張している様子だった参加者も、レクリエーションを通して同じ班や部屋の友だちと会話が増え、参加



者同士の距離がぐっと縮まった。

恥ずかしがり屋の船上モンスターに近づくためには仮装が必要。仮装のアイテムを集めるために館内を回り、6つのイニシアティブゲームに挑戦する。どの班の子も力を合わせてミッションに取り組み、仮装の材料をゲットすることができた。その後、手に入れた材料を使って仮装のマントづくりを行った。ペンで絵をかいたりぬり絵を切って貼ったりして、それぞれ思い思いのマントを作っていた。

夕食後は船上モンスターがお菓子パーティーをしようとしている場所探しを行った。謎解きをしながら、「たいいくかんに9時20分」の合言葉を見つけた。2日目の9時20分に体育館にお菓子を取り返しに行くことを確認し、1日目を終えた。

■2日目の活動の様子<11月2日(日)天候 曇り>

2日目の朝、朝の体操から元気一杯でスタートした。朝食後は、体育館で船上モンスターからお菓子を取り戻すためにしっぽ取りを行った。体育館には、元気に走り回る参加者の姿とお菓子を取り返した喜びの声があふれていた。全員がお菓子の付いたしっぽを取ることができ、小人たちのお菓子を取り返した。

船上モンスターと仲直りをして、皆でハロウィンピザパーティーを行った。今回はベーシックなピザに加えて、お菓子を使ったデザートピザも作った。どの班も協力しておいしそうなピザが焼き上がった。

別れのつどいでは、各班の代表者と全学生サポーターが感想を発表した。職員と学生サポーターで参加者や保護者の方を見送り、あっという間に1泊2日の日程を終えることができた。



総括

1. 参加者の感想(抜粋)

- わたしが楽しかったことは、おやつがついたしっぽを取るゲームです。わたしはバスのしっぽのおやつを取りました。たいへんだったけど、とても楽しかったです。
- 一番たのしかったのはピザづくりです。きじをこねたりトッピングをのせたりしました。あじはとてもおいしかったです。またせんじょうさんに行きたいです。
- 今回私が一番楽しかったことは、みんなでゲットだへんしんアイテムです。はじめのミッションのサンダーアタックでは、当たりそうになったところを教えてくれたので一発でゴールしました。

2. 成果

- スキルアップセミナー2に参加した学生を中心に準備が進み、当日の運営もほとんど総務の学生サポーターが行ったが、大きな問題もなく終えることができた。

3. 課題

- ピザづくりで通常のピザに加えてデザートピザも作ったが、想定していたよりも時間がかかり片付けが中途半端になっていた班があった。片付けまでやり切らせる考えると、時間配分を見直す必要がある。
- 今回は学生サポーターを総務と班付きにはっきりと分けて進めたが、班付きの人出が足りなかつたり、反対に総務でやることがない学生がいたりする場面があった。総務の学生の位置づけについて見直しが必要である。